

「ヤクザスター」 76分/2025年/日本/ステレオカラー/※DVD未販売

【作品概要】

数々の映像作品を制作し、ゆうばり国際ファンタスティック思い出映画祭 2025 で「おっさんの夏休み」が短編コンペティション部門にノミネートしたストーンプロダクション×ヨコハマプリンシパリティの第四弾！「哭きの竜」で主演デビュー以降、「ろくでなし BLUES」「大いなる完」「ポチの告白」「結び目」などの映画や、「日本統一」「織田同志会 織田征仁」「仁義」他、多数の任侠作品に出演し人気を誇る川本淳市と、幼少期から武術を学び、世界的アクションスターを目指しアクションコーディネーター、SNS 総フォロワー数 93 万人のインフルエンサーとして活躍するジョン・ビルレンゾーが主演し、スイスと日本で撮影を敢行！レンゾーが得意とする詠春拳・ムエタイ・シラットなどの華麗な技とアクションも盛り込み、かつてない任侠エンターテインメント作品が誕生した！

【ストーリー】

スイスに住む格闘家レンゾーは、海外でも公開されヒットした日本の任侠映画「ヤクザスター」観て、主演の吉本役(川本淳市)に心奪われる。そして“俺も日本でヤクザスターになる！”と勢いのまま来日、「ヤクザスター」の制作会社を訪ね、プロデューサーと川本に“ヤクザ役で映画に出演したい”と懇願する。ドイツ語しか話せないレンゾーの言葉を理解しようとする川本だが、“本物のヤクザになりたくて来日した”と勘違い。願いを叶えようと知り合いのヤクザ「大川組」に紹介し、レンゾーは舎弟見習いとして働くことに。ヤクザ俳優になるためのレッスンが始まったと喜び、修行に励むレンゾーだが、組事務所で拳銃を見つけ、小道具の扱いに慣れようと勝手に持ち出してしまう。拳銃を紛失した組は大慌て。姿を消したレンゾーに代わり、川本は拉致され痛めつけられる。何とか解放された川本のもとに、何事もなかったように戻ってくるレンゾー。その日は、新作映画、撮影の日。監督、主演を務めることになっていた川本は、撮影前にケジメをつけようと、レンゾーとヤクザ役の俳優たちを引き連れ、「大川組」へ。拳銃を返し、詫びを入れて帰って来るはずが、抗争シーンと勘違いしたレンゾーが大暴れ。ヤクザ俳優と本物のヤクザによる大乱闘がはじまる……



【スタッフ】

- 製作総指揮・原案：松尾典弘
- 監督・脚本・撮影・編集：田中慎太郎
- 製作：ストーンプロダクション
- 制作協力：手カプロダクション
ヨコハマプリンシパリティ
en-ry
47ENGINE



【キャスト】

- ジョンビル・レンゾー ■ 川本淳市
- ほしら ■ 小川雅史
- 井上智弘 ■ 縁川雄志
- ジョニー門倉 ■ 工藤秀昭
- 鈴木秀人 ■ 大山大介 ■ 脇知弘



【映画祭】

2026年度 国内外の映画祭に出品予定

【作品 HP・SNS・予告編】

※現在、準備中



【キャスト紹介】



ジョンビル・レンゾー（本人役）

世界的アクションスターを目指し、幼少期から武術を学び、総合格闘技・詠春拳・ムエタイ・シラット・カリなどを習得。アクションコーディネーターとSNS総フォロワー数93万人越えのインフルエンサーとして活躍するほかグラフィックデザイナーの資格も有し、デザイン・楽曲制作などでも才能を発揮している。



川本淳市（本人役・劇中作品で吉本役）

劇団スーパーエッセントリックシアターを経て、映画「哭きの竜」で主演デビュー。数多くの映画、舞台に出演。東葛映画祭のプロデュースや新国立劇場での舞台「幕末純情伝」等、多数の舞台演出を手掛ける。エンターテインメント製作集団47ENGINE代表。初監督作品「長全寺」がニース国際映画祭で最優秀外国語長編映画賞ほか、海外映画祭で多数の賞を受賞。



ほしら

（星川雄也 役）

大川組・若頭



大川剛志

（大川剛志 役）

大川組・会長



脇知弘

（本人 役）

映画・Vシネで活躍の俳優



大山大介

（本人 役）

映画・Vシネで活躍の俳優



鈴木秀人

（鈴木秀明 役）

制作会社プロデューサー